

もりや仙一郎便り

県政報告 Vol.51



8月22日午後4時ごろからの約20分間、天童市北部を中心とする地域で大粒のひょうが降り、農作物などに甚大な被害を

天童市

果樹産地に大打撃 降ひょう被害 「収入が半分以下に」

作物などに甚大な被害をきたし、収入が半分以下に落ちました。天童市内の農作物被害面積は合計で約400ヘクタールに及び、被害額は1億円とも試算されています。天童市北部は果樹産地でもあり、出荷を待つリンゴ、ラ・フランス、桃がたわわに実っている時期の被害でした。私も早速、現場視察を行いました。道満、山元、山口、川原子、成生地区が特に被害が大きかったようです。翌日には山本市長、結城天童市農協組合長、長澤山形県農

協中央会会長、若松山形県農林水産部長の皆さんと園地に入りました。24日には遠藤衆議院議員とも現地視察を行いました。



農林水産常任委員会に呼びかけ被害農家を視察

中心になっての被害果物の応援企画販売、天童市ふるさと納税企画の果物に利用したなどの支援を行っています。

現在の支援内容として、期での被害は農家の皆様への生産意欲を無くす結果となりませんでした。私にも支援を訴える農家の方々の声をたくさんいただいて

収穫を直前に控えた時期でもなかつたように終息してしまっています。私も議会での惨状の報告と、支援を求める質問を行ったところ、長期戦の覚悟を訴えてまいります。

おります。今回のひょう被害は収穫をしてみないと被害状況が分からず、選別にも手間がかかります。ある農家では「収入が前年比の半分かそれ以下になると覚悟している」と嘆いていました。

今年7月、南陽市で土砂崩れに見舞われたアドウ園は一目瞭然でその惨状が見取れますが、今回の天童市のひょう被害はその時が過ぎれば何事もなかつたように終息してしまっています。私も議会での惨状の報告と、支援を求める質問を行ったところ、長期戦の覚悟を訴えてまいります。



▲岐阜県庁に単独視察

「さらに活気ある山形へ」

県議会9月定例会で代表質問



山形県議会9月定例会で代表質問の機会をいただき、今後の山形をさらに輝かせ、活気あるものとするための振興策等について質問いたしました。一部抜粋し、ご紹介いたします。

大規模イベントの意義について

▼森谷仙一郎

ことし県内で様々な全国大会、大規模イベントが催された。2月のやまがた樹氷国体を皮切りに、5月東北六魂祭、6月JCI ASPAC山形大会、6月9月はアステーションキャンペーン

などがあり、10月には全国青樹祭が金山町で催される。そして2年後には技能五輪全国大会・全アヒリンピックが山形・天童市で予定されている。大会自体の成功は大事だが、得られた成果や課題を本県産業の活性化に活かすことが重要。今後、このような催しの開催意

義をどのように捉え、どのような姿勢で誘致に取り組むのか。

▼吉村知事
各種観光イベントや学術大会など地域にとって大きな意義、効果がある。イベントが掲げるテーマや課題について県民意識の醸成・啓発や、人材の育成、産業の振興など、多面にわたる効果が期待されるほか、国内外の専門家など県内関係者が交流することにより、新たな事業や様々な取り組みの創出などにつながる。

- ### 山形県議会 9月定例会代表質問内容
1. 県政運営について
 - (1) 全国大会・大規模イベント開催の意義等について
 - (2) 奥羽・羽越新幹線の整備実現に向けた取り組みについて
 - (3) 受動喫煙防止対策の今後の進め方について
 2. 山形空港の利用拡大策について
 3. 認可外保育施設に対する支援について
 4. 国際戦略について
 - (1) ハルビン事務所の評価・検証について
 - (2) アセアン戦略について
 5. 農業施策について
 - (1) トップランナー育成の考え方について
 - (2) 安定した農業生産に向けた施策について
 6. 今後の水害・土砂災害対策の進め方について
 7. 「いのちの教育」について

化に向けて施策に活かしていくことが重要。今後、このような催しの開催意

義をどのように捉え、どのような姿勢で誘致に取り組むのか。

▼森谷仙一郎
人口6億人の大きな市場であるアセアン諸国に積極的なプロモーションで成果をあげている岐阜県を視察した。官民一体となって岐阜を売り込む「飛騨・美濃・まんな海外戦力プロジェクト」が功を奏し、平成25年の外国人宿泊数は約36万人で、プロジェクトがはじまる前の平成20年度比で約84%増と、全国の伸び率40%と比べて群を抜く成果をあげている。

奥羽・羽越新幹線の整備実現に向けて

▼森谷仙一郎

知事は2期目の選挙公約に、「奥羽・羽越新幹線の整備」を掲げ、「次の世代のためにフル規格新幹線の実現に向けた取り組みを進める」と約束した。

今後、県民が同線のイメージを共有できるよう、ルート、停車駅など写真等を示していく必要がある。整備実現に向けた取り組みをどう進めるのか。

▼吉村知事

太平洋側でフル規格の新幹線で結ばれている一方、日本海側では偏った整備状況になっている。新幹線が観光、ビジネスなど社会経済の様々な分野で大量の交流を生み、企業誘致や沿線投資が促進されるなど地域発展のためになんとしても実現しなくてはならない。年内に「フル規格の奥羽・羽越新幹線の整備促進に向けたワーキングチーム」を庁内に設置して課題の洗い出しなどを進める。

もりや仙一郎事務所

ご意見を募集しております。FAX・メール・ブログでこうして欲しい! ココが問題! 改善して欲しい! など 頂けると幸いです。

☎023-651-5539 FAX023-651-5549

〒994-0013 天童市老野森3丁目4-17

もりや仙一郎

検索

ホームページ <http://www.10016.jp/>

facebook 友達登録をお願い致します。 QRコードでアクセス

